

一宮市博物館 令和4年度 特別展

西田

Nishida Masato

人 眞

一の宮を描く



2022

《七夕》愛知・真清田神社 2016年

10/15 11/27

《休館日》毎週月曜日、11月4日、11月24日

《開館時間》午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

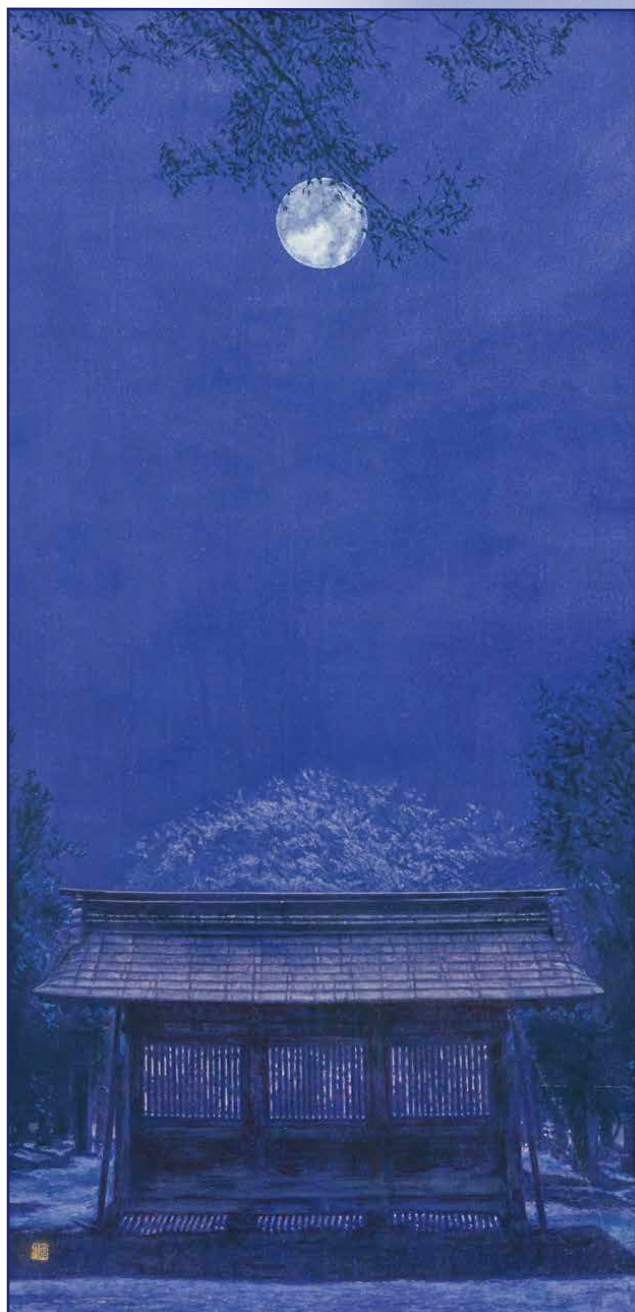
《観覧料》一般800円(640円)・高大生400円(320円)・中学生以下無料

常設展観覧料を含む。()内は20名以上の団体料金。

一宮市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方は無料。

身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳(ミライロID可)を持参の方(付添人1人を含む)は無料。

《主催》一宮市博物館、中日新聞社 《特別協力》敬愛まちづくり財団 《企画協力》神戸新聞社



《蕃堀》愛知・大神神社 2022年

西田 眞 人 一の宮を描く Nishida Masato

神戸市在住の日本画家である西田真人(にしだ・まさと、1952～、日展特別会員)は、これまで诗情豊かな風景画などを多数描いてきました。近年は、日本全国を訪ねて一の宮に取材した作品を制作しています。



《望む》千葉・洲崎神社 2022年

「一の宮」とは、神社の格を表し、国司が新たに任じられた際に最初に参拝する神社でした。平安から鎌倉時代にかけて成立したといわれています。西田氏は、全国の一の宮と伊勢神宮の内宮・外宮あわせて合計103社を描くことを目指しており、本展ではこれまでに完成した作品のうち、屏風を含む日本画と写生画など約70点を展示します。尾張国の一の宮である真清田神社があることからその名がつけられた一宮市にて、独自の視点で描かれた全国の様々な一の宮の作品をご覧ください。



《春風》鹿児島神社 2016年



《春英》三重・敢國神社 2020年



《波上宮》沖縄 2012年



《帰心》大阪・大鳥神社 2019年

※特別展掲載作品は全て敬愛まちづくり財団所蔵

西田真人氏 講演会 「一の宮」を描く旅

10月30日(日) 午後2時から(午後1時30分開場)

会場 妙興寺公民館(博物館となり)

定員 60名(当日午前9時30分より博物館受付にて整理券配付)

参加費 400円

※終了後、図録サイン会開催予定(図録代別途)

学芸員によるスライドトーク

11月3日(木・祝)、11月13日(日) ともに午後2時から

会場 博物館1階映像コーナー

定員 各回20名(当日午前9時30分より受付にて整理券配付)

同時開催

◎たいけんの森「小さな絵の展覧会」
特別展出品作の図版で小さな展示室を作ります。

10月1日(土)～11月27日(日)の

毎週土曜・日曜・祝日

午前9時30分～正午・

午後1時～午後4時30分

中学生以下無料 高校生以上100円



◎特集展示「名僧の墨蹟」

10月15日(土)～12月18日(日)

足利紫山《茶は長寿友》館蔵



Ichinomiya City Museum
一宮市博物館



〒491-0922 一宮市大和町妙興寺2390番地

TEL 0586-46-3215

FAX 0586-46-3216

URL <https://www.icm-jp.com/>

館内でのマスクの着用や入館時の手指消毒にご協力ください。
新型コロナウイルス感染症の影響により、変更が生じる場合があります。その場合は、博物館のWEBサイトやSNSでご案内します。

交通案内

- 「名鉄名古屋駅」より名鉄名古屋本線特急岐阜行に乗り、「国府宮駅」にて普通岐阜行に乗り換え、「妙興寺」駅下車。南口より徒歩7分。
- 「名古屋駅」よりJR東海道本線岐阜行に乗り、「尾張一宮」駅下車。タクシーで約10分。
- 一宮市生活交通バス「ニコニコふれあいバス」にて「博物館西」下車。徒歩5分。

